

没後120年

エミール・ガレ

憧憬のパリ

2025 1.26 SUN

2024 11.2 SAT

【開場時間】

9:30—18:00

○金・土曜日は20:00まで

○入場は閉場の30分前まで

【閉場日】

第1・3水曜日

年末年始（12/29—1/1、1/8）

【観覧料】

一般 1,200 (1,000) 円

大学生 1,000 (800) 円

○（ ）内は20名以上の団体料金

○高校生以下無料

*本展観覧券で常設展もご覧いただけます

【前売券取扱】1,000 円（一般のみ）

OTOYAMAキラリ1階総合案内

○アスネットカウンター（Tel. 076-445-5511）

【主催】富山市ガラス美術館

【後援】在日フランス大使館／アンスティチュ・フランス

北日本新聞社、富山新聞社、NHK富山放送局

北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ

【お問い合わせ】

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel. 076-461-3100 Fax. 076-461-3310

toyama-glass-art-museum.jp





1《花瓶「鯉」》1878年 大一大美術館



2《花瓶「葡萄畑のエスカルゴ」》1884年 パリ装飾美術館 Paris, musée des Arts décoratifs



3《花瓶「ジャンヌ・ダルク」》1889年 大一大美術館



4《花瓶「アネモネ」》1897-1904年 ウッドワン美術館

エミール・ガレ(1846-1904)は、アール・ヌーヴォー期、フランス東部ロレーヌ地方の古都ナンシーで、父が営む高級ガラス・陶器の製造卸販売業を引き継ぎ、ガラス、陶器、家具において独自の世界観を展開し、輝かしい成功を収めました。晩年の1901年には、様々なジャンルにわたるナンシーの芸術家たち36名とともに「ナンシー派(産業美術地方同盟)」を結成し、初代会長も務めています。

ナンシーの名士として知られる一方、ガレ・ブランドの名を世に知らしめ、彼を国際的な成功へと導いたのは、芸術性に溢れ、豊かな顧客が集う首都パリでした。父の代からその製造は故郷ナンシーを中心に行われてきましたが、ガレ社の製品はパリのショールームに展示され、受託代理人を通して富裕層に販売されていったのです。ガレ自身も頻繁にパリに滞在しては、取引のあった販売店を訪ねたと言います。1878年、1889年、1900年にはパリ万国博覧会という国際的な大舞台で新作を発表し、特に1889年の万博以降は社交界とも繋がりを深め、その名を広めていきました。しかし、その成功によってもたらされた社会的ジレンマや、彼のしかかる重圧は、想像を絶するものだったと言います。1900年の万博のわずか4年後、ガレは白血病によってこの世を去りました。本展覧会では、ガレと彼の地位を築いた憧れのパリとの関係に焦点を当て、彼の創造性の展開を顧みる試みです。輝かしい名声、それゆえの苦悩、そして発展……、世界的芸術の都パリという舞台なくて、ガレの芸術性は成し遂げられなかったでしょう。どうぞご期待ください。

【関連プログラム】

◎記念講演会

日時：1/18(土) 14:00から
場所：富山市ガラス美術館 2階ロビー
講師：土田ルリ子(富山市ガラス美術館館長)
テーマ：「エミール・ガレ：その人と芸術」
参加無料、申込み不要(入場の際、展覧会チケットの半券をご提示ください)

◎ワークショップ：「ガラスのヒンメリを作ろう」

日時：12/7(土) 10:30-12:00 / 13:30-15:00
場所：6階レクチャールーム
対象：小学4年生以上
定員：各回10名
参加費：2,500円
※事前申し込み制
※申し込み方法などの詳細は当館公式ウェブサイトをご覧ください。

◎館長による作品解説

日時：11/10(日)、30(土)/12/15(日)/1/11(土) 各回 14:00から
場所：富山市ガラス美術館 2・3階展示室1-3
参加無料、申込み不要
※展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
※関連プログラムの詳細は当館公式ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。
※プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。最新の情報は当館公式ウェブサイトをご確認ください。



5《花瓶「蘭」》1900年 ボーラ美術館 ©公益財団法人ボーラ美術振興財団 ボーラ美術館



6《花瓶「リネ」》1906年(「リネ」第22)9 Paris, musée des Arts décoratifs ©Les Arts Décoratifs / Laurent-Sully Jaumes



7《花瓶「オダマキ」》1898-1900年 サントリー美術館(香地コレクション)



8《脚付杯「蜻蛉」》1903-04年 サントリー美術館

*いずれも制作者はエミール・ガレ



TOYAMA 富山市
キラリ ガラス美術館
TOYAMA GLASS ART MUSEUM

交通アクセス【富山駅より】○徒歩20分 ○市内電車(南富山駅前行き)「西町(にしちょう)」下車 徒歩1分 ○市内電車環状線「グランドプラザ前」下車 徒歩2分(富山駅から「西町」[グランドプラザ前]まで約10分)
【富山空港より】○地鉄バス(富山駅行き)直行 / 36系統「総曲輪(そうがわ)」下車 徒歩4分

